

8 / 12 日 午後2時00分～

入場無料

Noboru Morishige Summer Concert vol.10



森繁 昇 サマーコンサート

今年もハワイ在住のゴスペルシンガー森繁昇が、ギター・ビオラ・ハーモニカなどの楽器とソフトな歌声を、皆さまにお届けします。暑い夏の午後、爽やかなひと時をお過ごしください。

定期集会のご案内

主日礼拝

日曜日 10:30～11:40

週のはじめに、神様を礼拝する祝福の時間をお過ごしください。神様について知ることのできる良い機会です。(自由献金があります)

こどもチャペル

日曜日 13:15～14:15

日曜日の午後は、子どもたちのための聖書のお話や楽しいプログラムが盛りだくさん。小さい子どもたちから高校生まで参加できます。



キリストを現代に伝える人たち

クリスチャンって、何だかあまり馴染みがないな・・・と思いますか?そんなあなたに、とっておきの豆知識! 実は意外な人がクリスチャンだったのです。

旧5千円札の顔と言えば・・・新渡戸稲造(にとべ いなぞう)

今年、新渡戸稲造生誕150周年です。築地外人英語学校に入学した彼は、教会に足を踏み入れ、キリスト教と出会いました。

その後クラーク博士が初代校長を務めた札幌農学校に入学。博士の残した信仰とスピリットから影響を受け、彼自身もイエス・キリストを信じてクリスチャンとなりました。学校で議論を持ちかけられたときも、「そんな事より聖書を読みたまえ。聖書には真理が書かれている」と答えたというエピソードが残っています。

後に彼は国際連盟事務次長として活躍し、彼の著書「武士道」はアメリカはじめ世界各国でベストセラーとなりました。「太平洋の橋になりたい」とは、東京大学の入学試験で面接官に向かって話した言葉として有名ですが、まさに、キリストと聖書が、神と人間の架け橋となったことを自らの生き方をもって実践しようとしたといえます。聖書の真理に根ざして生きる、これこそ彼が人生をかけて目指したところとなりました。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

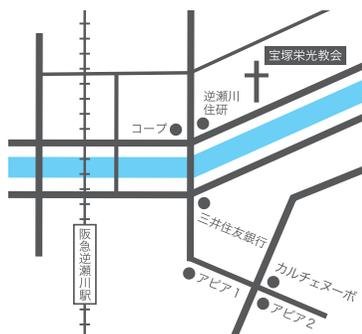
E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。



み翼の陰にかくまってくださる主

私たちは、毎日の生活を営んでいる中で、困難にぶつかったり、試みの中を通らされたりすることがあります。時には、思い当たる節もないのに、人から中傷されて、心が傷つくというようなこともあります。そんなとき、私たちは誰に訴えたらいいのでしょうか。どこに悩みを持っていけばいいのでしょうか。誰が私たちを救い出してくださるのでしょうか。

旧約聖書の詩篇17篇8節に、このようにあります。「私を、ひとみのように見守り、御翼(みつばさ)の陰に私をかくまってください。」体の中で目の瞳は、とても大切な働きをします。ですから、神様は人を創造される時に、まぶたで覆ったり、涙で潤したりして、瞳がいつも守られるように創られました。神様は、私たちを、瞳のように守られます。また、私たちをみ翼の陰にかくまうようにして守られます。

山火事後始末をしていた人が、黒焦げになった山鳩の翼の下から、か細い雛(ひな)の鳴き声を聞きつけ、焼けた親鳥の体の下から瀕死の雛を見つけて助けたという話を聞いたことがあります。親鳥は、自分の体を犠

牲にしてまで、わが子を炎から守ったのです。

神様も、私たちに対してそのようにしてくださいました。私たちは、傲慢で、強情で、自己中心の塊のような者です。妬み深く、愛のない冷淡な者です。心が神様から離れてしまっているからです。それが私たちの罪です。そのままでは確実に滅びます。そのような私たちを、神様は哀れに思い、私たちのために、ご自分の独り子キリストを十字架に犠牲として献げてくださいました。私たちは、罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるだけで、罪が赦され滅びから免れさせられます。

この救いをいただいて、私たちは平安をいただくことが出来ます。御子を惜しみなく献げてくださった神様は、私たちが試練や困難によってつぶされてしまうことをお許しになりません。真実に私たちを守ってくださいます。

まず自分の魂が罪から救われる恵みをいただきましょう。そして、み翼の陰にかくまって私たちを守ってくださる神様に、心から信頼していきましょう。



「ササユリ」

木々の下
やわらかい光のさすところで
ササユリを 見つけた

このごろは ササユリを探して 山を歩いても
見つけることが むづかしい
自然環境の変化や 心ない人の手によることもあると聞くが
種でのみ ふえるという ササユリ
種が土に落ちて 芽を出し 花をつけるまで
5年から10年も 月日がかかるという

その間 何が起ころか ササユリもわからないだろう
同じ場所で 見つけられないのは そのためか

そんなササユリを 見つけたのだから
うれしさも ひとしおだ

少しうつむきながら ひたすらに 語りかけているようだ
しかも 豊かな芳香を 一面に放っている
貴重な花であることなど 意にも介さず
静かに やさしく 美しい笑みをうかべて
風に揺れ続けている

彼らは 飢えることなく 渴くこともない
太陽も熱風も 彼らを打つことはない
憐れみ深い方が 彼らを導き
湧き出る水のほとりに 彼らを伴って行かれる
天よ 喜び歌え 地よ 喜び躍れ
山々よ 歓声をあげよ
主は 御自分の民を 慰め
その貧しい人々を 憐れんでくださった

(聖書)